

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(市町総括表)
 【単独・連携事業】

市町名	足利市
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
1	歩き愛です事業	総事業費	1,313,647	1,363,470	1,139,538	914,400	1,200,000	5,931,055
		うち市町支出額	243,971	299,470	299,538	300,000	300,000	1,442,979
		うち県交付金	0	0	149,769	150,000	150,000	449,769
2	観光ロゲイニング事業	総事業費			476,000	448,515	480,000	1,404,515
		うち市町支出額			295,728	300,000	300,000	895,728
		うち県交付金			0	150,000	150,000	300,000
3	演芸によるふるさとまちおこし寄席	総事業費		1,813,731	1,097,007	1,623,708	1,200,000	5,734,446
		うち市町支出額		480,000	480,000	400,000	400,000	1,760,000
		うち県交付金		240,000	240,000	200,000	0	680,000
4	足利秋まつり事業	総事業費				6,797,810	6,000,000	12,797,810
		うち市町支出額				3,000,000	3,000,000	6,000,000
		うち県交付金				1,500,000	1,500,000	3,000,000
5	足利冬物語	総事業費		5,396,361	4,284,741	3,457,145	1,000,000	14,138,247
		うち市町支出額		1,000,000	1,000,000	745,000	1,000,000	3,745,000
		うち県交付金		500,000	500,000	372,000	0	1,372,000
6	着物によるまち歩き推進事業	総事業費				502,443	500,000	1,002,443
		うち市町支出額				500,000	500,000	1,000,000
		うち県交付金				250,000	250,000	500,000
7	足利灯り物語創出事業	総事業費				3,160,251	5,000,000	8,160,251
		うち市町支出額				3,000,000	2,500,000	5,500,000
		うち県交付金				1,500,000	2,500,000	4,000,000
8	あしかが美食まつり	総事業費				1,880,826	2,100,000	3,980,826
		うち市町支出額				1,000,000	1,000,000	2,000,000
		うち県交付金				500,000	500,000	1,000,000
9	観光サポーターズ事業	総事業費		1,196,734	904,746	469,285	620,000	3,190,765
		うち市町支出額		1,196,734	904,746	469,285	620,000	3,190,765
		うち県交付金		598,367	452,373	234,642	0	1,285,382
10	歩くまち空間創出事業	総事業費		821,037	843,001	1,071,073	400,000	3,135,111
		うち市町支出額		800,000	800,000	800,000	400,000	2,800,000
		うち県交付金		400,000	400,000	400,000	0	1,200,000
11	まちなか賑わい創出事業	総事業費		350,000	795,553	897,803	700,000	2,743,356
		うち市町支出額		350,000	600,000	600,000	600,000	2,150,000
		うち県交付金		175,000	300,000	300,000	0	775,000
12	あしかが映像まつり	総事業費	3,576,541	3,361,353	3,002,111	3,200,000	3,200,000	16,340,005
		うち市町支出額	2,955,925	3,001,041	2,700,000	2,700,000	2,700,000	14,056,966
		うち県交付金	1,477,962	1,500,520	21,518	0	0	3,000,000
13	足利尊氏マラソン大会	総事業費	17,805,162	20,601,511	19,011,502	20,353,000	20,353,000	98,124,175
		うち市町支出額	2,500,000	2,500,000	2,500,000	2,500,000	2,500,000	12,500,000
		うち県交付金	1,250,000	1,250,000	500,000	0	0	3,000,000
市町計		総事業費	22,695,350	34,904,197	31,554,199	44,776,259	42,753,000	176,683,005
		うち市町支出額	5,699,896	9,627,245	9,580,012	16,314,285	15,820,000	57,041,438
		うち県交付金	2,727,962	4,663,887	2,563,660	5,556,642	5,050,000	20,562,151

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	足利市
事業名	歩き愛です事業
事業主体の名称	足利歩き愛です実行委員会
代表者の名称	委員長 西村晃
事業主体の所在	〒326-0808 足利市本城三丁目2022番地1(足利市健康増進課)
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:歩いて健康になる、歩きたくなる楽しいまちをつくるために推進しているスマートウェルネスあしかがの取り組みの一環として、足利歩き愛ですを実施するにあたり、その円滑な運営と官民一体となった新しいイベント創出のため設置。 ・設立年月日:平成28年10月24日 ・構成員等:GS世代研究会、足利商工会議所、足利市観光協会、足利商業連合会、足利市坂西商工会、足利市
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・栃木県は人口1人あたりの乗用車保有台数が全国2位であり、足利では近所のお店などにも車で出かける人が多い。 ・国の調査などでは、健康づくりのために行動する人と行動しない人が3:7の割合という結果が出ている。 ・少子高齢化・人口減少が急速に進む中、足利市では高齢になっても地域で元気に暮らせる社会を実現するためにも「健康(けんこう)=健康で幸せ(身体面の健康だけでなく、人々が生きがいを感じ、安心安全で豊かな生活を送れること)」づくりである「スマートウェルネスシティ構想」を推進している。 ・スマートウェルネスシティ構想の実現のため、まちのにぎわいや歩きたくなる楽しいまちを創出し、多くの人にまちなかを回遊してもらう必要がある。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・運動のきっかけづくりから継続へとつなげる(専用歩数計を使用し1万歩を目標に歩くイベント) ・市内店舗の協力による商業・サービスの活性化、まちのにぎわい創出(専用歩数計提示による優待店舗のサービス) ・観光誘客(歩き愛ですは共通の専用歩数計を使用し全国で開催されている。専用歩数計持参者は参加料無料)
事業概要	<p>【平成31(2019)年度】</p> <p>足利歩き愛ですの開催 日時:2020年1月19日(日) 受付開始:午前9時 受付後順次スタート 最終ゴール:午後2時 場所:大日苑 鑿阿寺 西側イベント広場(スタート・ゴール会場) 足利七福神巡りウォーキングコース 約8km 内容:専用歩数計を使用し1万歩を目標に足利歴史クイズを解きながら歩くイベント ・専用歩数計持参者は参加料無料。ただし、専用歩数計がない方は1,000円にて、参加証として配布した。 ・12か所のチェックポイントで足利歴史クイズを出題した。1問正解するとボーナス歩数1,000歩 ・スタート地点では協力団体や協賛企業によるブース出展(血管年齢の測定、準備体操等) ・ゴール後に協賛企業(54社)からの豪華完歩賞を贈呈した。 ・歩数計の歩数プラス歴史クイズ正解歩数が20,000歩達成した方は、豪華景品の抽選くじに参加とした。 ・市内優待店舗(42店舗)は専用歩数計の提示により様々なサービス提供の協力をいただいた。 ・健康(けんこう)マイレージスタンプ対象事業として開催した。 ・参加者約1,300人</p> <p>【平成32(2020)年度】</p> <p>コースや時期の変更を検討しながら継続的に実施していき、催事規模を拡大する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】健康マイレージ参加者数(平成31年度目標値)</p> <p>【KPI】H28 4,000人 → H31 11,000人【H30実績 2,033人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	30年度	31年度	32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	足利歩き愛ですの開催	足利歩き愛ですの開催	足利歩き愛ですの開催		足利歩き愛ですの開催
事業費	1,139,538	914,400	1,200,000	3,253,938	1,200,000
市町支出金 (ソフト事業分)	299,538	300,000	300,000	899,538	300,000
うち県交付金	149,769	150,000	150,000	449,769	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	840,000	614,400	900,000	2,354,400	900,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	健康増進課スマートウェルネスシティ担当
担当者名	小林 靖
電話	0284-22-4512
FAX	0284-21-7050
E-mail	wellness@city.ashikaga.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	歩き愛です事業	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額	備考
市支出金	300,000	
協賛金等	160,000	
諸収入	454,400	参加料(歩数計代) 1,000円×449人 ※専用歩数計の電池交換を実施 @100円×54人(5,400円)
計	914,400	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市	町		
消耗品費	626,060	124,230	62,115	501,830	歩数計、ビニール袋、看板代 ほか
食料費	37,800	0	0	37,800	従事スタッフ昼食代
印刷製本費	247,500	173,640	86,820	73,860	ポスター(A2 200枚) チラシ(A4 15,000枚) マップ(A5 12P 2,500冊) 歩数計送料
通信運搬費	1,500	1,050	525	450	
手数料	1,540	1,080	540	460	振込手数料
使用料及び賃借料	0	0	0	0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	914,400	300,000	150,000	614,400	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単体事業調書)
【単体事業】

市町名	足利市
事業名	観光ロゲイニング事業
事業主体の名称	足利観光ロゲイニング実行委員会
代表者の名称	委員長 川連正司
事業主体の所在	〒326-0808 足利市本城三丁目2022番地1(足利市健康増進課)
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:歩いて健康になる、歩きたくなる楽しいまちをつくるために推進しているスマートウェルネスあしかがの取り組みの一環として、足利観光ロゲイニングを実施するにあたり、その円滑な運営と官民一体となった新しいイベント創出のため設置。 ・設立年月日:平成30年6月6日 ・構成員等:足利市観光協会、足利商工会議所、足利商業連合会、足利市坂西商工会、株式会社スポーツライフパート
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・栃木県は人口1人あたりの乗用車保有台数が全国2位であり、足利では近所のお店などにも車で出かける人が多い。 ・国の調査などでは、健康づくりのために行動する人と行動しない人が3:7の割合という結果が出ている。 ・地方創生に関連して少子高齢化・人口減少により、コミュニティ活動の維持が困難な状況にある。そうした中で、地域間交流をより深めるために、若年層も楽しめるイベントの開催が必要である。 ・少子高齢化・人口減少が急速に進む中、足利市では高齢になっても地域で元気に暮らせる社会を実現するためにも「健幸(けんこう)=健康で幸せ(身体面の健康だけでなく、人々が生きがいを感じ、安心安全で豊かな生活を送れること)」づくりである「スマートウェルネスシティ構想」を推進している。 ・スマートウェルネスシティ構想の実現のため、まちのにぎわいや歩きたくなる楽しいまちを創出し、多くの人にまちなかを回遊してもらう必要がある。 ・ウォーキングイベントへの参加が少ない若年層が楽しめるイベントを開催する必要がある。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・家族やグループで、観光・スポーツ・健康増進など様々なニーズに合わせて楽しみながら歩いてもらう。 ・飲食店などをポイントとすることで商業活性化にも繋げる。 ・多くの人に足利の素敵な場所を知ってもらう。
事業概要	<p>【平成31(2019)年度】</p> <p>足利観光ロゲイニングの開催 日時:2019年10月22日(火・祝) 午前9時受付 10時スタート 最終ゴール午後2時 場所:市内チェックポイント約50か所 (スタート・ゴール会場 商工会議所友愛ホール) 内容:「観光ロゲイニング」は、地図を見ながら目的のポイントを探し、写真を撮影して回るイベント。 ・各ポイントには異なる得点を設定した。 ・当日、スタート直前に配られる地図には、スタート地点を中心に四方八方に点在した約50か所のチェックポイントを示した。 ・制限時間内により多くのポイントを回るため各チームで作戦を練ってからスタートし、得点の多いチームには賞品を贈呈した。 ・知力・体力などチーム力が試されるイベントとした。 ・観光気分がゆっくり歩きたいチームのためのウォークの部、家族で参加できるファミリーの部を設定した。 ・定員 先着200名(市内外を問わずどなたでも参加可能) ・参加料 1人 1,000円(小中学生以下は無料)、(足利市子ども夢基金の賛同者については1人 1,100円) ・申込時に参加者に足利市子ども夢基金の趣旨を説明し、賛同いただいた方は、参加料より100円を基金に寄付した。 【平成32(2020)年度】</p> <p>チェックポイントや時期の変更を検討しながら継続的に実施していき、催事規模を拡大する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】健幸マイレージ参加者数(平成31年度目標値)</p> <p>【KPI】H28 4,000人 → H31 11,000人【H30実績 2,033人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	30年度	31年度	32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	足利観光ロゲイニングの開催	足利観光ロゲイニングの開催	足利観光ロゲイニングの開催		足利観光ロゲイニングの開催
事業費	476,000	448,515	480,000	1,404,515	480,000
市町支出金 (ソフト事業分)	295,728	300,000	300,000	895,728	300,000
うち県交付金	0	150,000	150,000	300,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	180,272	148,515	180,000	508,787	180,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	健康増進課スマートウェルネスシティ担当
担当者名	田部井 俊夫
電話	0284-22-4512
連絡先 FAX	0284-21-7050
E-mail	wellness@city.ashikaga.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	観光ロゲイニング事業	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額	備考
市支出金	300,000	
参加料	138,000	参加料 1000円×138名(大人1000円、小中学生無料)
諸収入	10,515	足利市こども夢基金(@100×62名) 台風19号災害支援「ふるさと足利応援寄附金」¥4,315
計	448,515	

2 支出の部

科目	予算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市	町		
消耗品費	135,718	92,960	46,480	42,758	参加賞代、景品代、消耗品代
印刷製本費	51,732	35,430	17,715	16,302	ポスター(B2 100枚) チラシ(A4 5,000枚)
手数料	550	380	190	170	振込手数料
委託料	250,000	171,230	85,615	78,770	(一・社)ポジティブスポーツ 振興協会委託料
寄附金	10,515	0	0	10,515	
				0	
計	448,515	300,000	150,000	148,515	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	足利市
事業名	演芸によるふるさとまちおこし寄席
事業主体の名称	ふるさとまちおこし寄席実行委員会
代表者の名称	会長 立川 甚吾
事業主体の所在	〒320-8601 足利市本城三丁目2145(観光振興課内)
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:この会の趣旨に賛同する者が連携して、演芸を活用しながら地域の発展及び活性化に寄与すること ・設立年月日:平成25年5月8日 ・構成員等:三遊亭歌橋、プラザハマダ、足利市観光協会、足利市 等
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・足利市には落語界で栃木県初の真打となられた「三遊亭歌橋」師匠がいます。 ・演芸の中でも特に落語はNHK教育テレビでも取り上げられ、子供たちにも親しまれております。古典落語は、江戸時代から明治時代にかけて庶民の生活を伺い知ることができるのと同時に、人にわかりやすく物語を伝えることができる「話術」であり、後世に残していくべき伝統芸能です。 ・演芸界には、足利市出身の演芸実演者が活躍していますが、足利市ではその人材を活かしていない現状があります。 ・演芸界における著名人のSNSを使用した拡散は大きな効果があり、あしがが輝き大使である「三遊亭歌橋」師匠を通じた情報発信は、足利の魅力発信に大きな効果が期待できます。 ・演芸のまち「浅草」と足利市は東武伊勢崎線でつながっています。浅草での情報発信は足利へ観光誘客を図るには効果が高いと考えられます。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市内各地において寄席を定期的に開催することにより、地域活性化につなげるとともに観光ツアーの造成につなげる。 ・首都圏での演芸場等でPRすることにより新たな観光誘客につなげる。 ・落語や漫才など「話す」ことを主とした演芸に触れることにより、市民の「国語力」向上につなげる。
事業概要	<p>【平成31(2019)年度】</p> <p>①ふるさとまちおこし寄席の開催 日時:6月15日、10月22日、開場:正午 開演:午後1時 場所:足利市民プラザ文化ホール 内容:足利落語道場の発表会及び演芸実演者による寄席</p> <p>②寄席開催にかかる広告物の作成 広告物の内容:チラシ、ポスター 広告物の配布先:チケット販売所、観光拠点施設、公民館、老人福祉施設、接骨院 など</p> <p>③落語道場の実施 日時:月1回の開催 場所:足利まちなか遊学館 内容:三遊亭歌橋師匠による落語の指導</p> <p>※出演者や関係者のSNSにより寄席の情報や足利市の情報の拡散を図り、足利市の魅力を発信した。</p> <p>【平成32(2020)年度】 継続的な実施により、催事規模を拡大する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】観光入込客数(平成31年度目標値) 【KPI】H26 355万人 → H31 500万人【H30実績 507万人】 【KPI達成状況】H27 394万人、H28 411万人、H29 475万人、H30 507万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①ふるさとまちおこし寄席の開催 ②寄席開催にかかる広告物の作成 ③落語道場の実施	①ふるさとまちおこし寄席の開催 ②寄席開催にかかる広告物の作成 ③落語道場の実施	①ふるさとまちおこし寄席の開催 ②寄席開催にかかる広告物の作成 ③落語道場の実施		①ふるさとまちおこし寄席の開催 ②寄席開催にかかる広告物の作成 ③落語道場の実施
事業費	1,813,731	1,097,007	1,623,708	4,534,446	1,200,000
市町支出金(ソフト事業分)	480,000	480,000	400,000	1,360,000	400,000
うち県交付金	240,000	240,000	200,000	680,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,333,731	617,007	1,223,708	3,174,446	800,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光振興課観光・コンベンション担当
担当者名	松島 颯
電話	0284-20-2165
FAX	0284-21-0643
E-mail	kankou@city.ashikaga.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	演芸によるふるさとまちおこし寄席	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額	備考
市支出金	400,000	
諸収入	847,000	
繰越金	376,703	
利子	5	
計	1,623,708	

2 支出の部

科目	予算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	930,000	400,000	200,000	730,000	6/15 出演料400,000円 10/22 出演料500,000円 出演者交通費 5,000円×3人×2回
消耗品費	2,196	0	0	2,196	サイン色紙、傘袋他
食糧費	34,120	0	0	34,120	出演者、スタッフ食事代
印刷製本費	105,500	0	0	105,500	チラシ、ポスター、チケット 作成費
委託料	43,632	0	0	43,632	交通整理員委託料
手数料	14,850	0	0	14,850	チケット販売手数料
次年度持ち越し	493,410	0	0	493,410	
				0	
				0	
計	1,623,708	400,000	200,000	1,423,708	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	足利市
事業名	足利秋まつり
事業主体の名称	足利秋まつり実行委員会
代表者の名称	会長 相馬 稔
事業主体の所在	〒326-8502 足利市通三丁目2757
事業主体の概要	<p>・団体の目的:秋の行楽シーズンに、郊外観光施設と中心市街地への観光誘客と滞留時間延長を図るため、事業を展開する。</p> <p>・設立年月日:平成21年10月13日</p> <p>・構成員等:足利市、足利商工会議所、足利市観光協会、ほか</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>地域の特徴・現状・課題等(事業の内容と関連するもの)を記載</p> <p>・本市では、第7次足利市総合計画の戦略プロジェクトに、「まちの魅力発信プロジェクト」を掲げ、歴史・文化・自然・風土などの豊かな地域資源を磨き上げ、まちの魅力を更に高め、地域のおもてなしと地域の特性を活かしながらにぎわいと魅力あるまちづくりに取り組んでおり、足利の秋まつりでは、これまで複数のイベントを約1か月間開催し、足利の魅力を内外に発信している。</p> <p>・誘客促進のために、「グルメフェスタ」「足利学校さままつり」(事務局:足利市)や「三大陶器祭り」(事務局:足利商工会議所)を同日に開催し、それぞれのイベントの回遊性を向上させるため、市内巡回バスの「ぐるファンバス」(事務局:足利市)を運行していますが、近年、集客力の低下がみられるようになった。</p> <p>・長期間観光客を取り込み、地域活性化に資するため、同日に会場を分散して開催していた秋のイベントを見直し、足利の魅力を発信する集中的な観光プロモーションを行う必要がある。</p>
事業目的	<p>事業の目的を簡潔に記載</p> <p>・イベントとおし、歴史と文化が色濃く残り、紅葉で色づく足利市の魅力を発信する。</p> <p>・これまでのイベントを集約し、効果的に配置することで、長期間の観光誘客を図ります。</p>
事業概要	<p>当該年度の実施内容、翌年度以降の取組等を簡潔に記載</p> <p>【平成31(2019)年度】</p> <p>・これまでの秋まつりは、同日に複数のイベントを開催していたため、集客力の低下がみられるようになった。</p> <p>・長期間、秋の観光客を取り込む内容に一新する。</p> <p>○2018実績</p> <p>・足利学校さままつり:11月23日・24日(足利学校前の通りを歩行者天国にして実施)</p> <p>・足利グルメフェスタ:11月23日～25日(あしかがフラワーパーク)</p> <p>・三大陶器祭り・クラフトアートまつり:11月23日～25日(栗田美術館)</p> <p>○開催趣旨</p> <p>①実施内容を見直し、紅葉で色づく秋の足利に複数回足を運んでもらえる企画とした。</p> <p>②開催日を分散させることでイベントの集客力を強化した。</p> <p>③ホームページやSNS等を活用し、足利の魅力を多方面に発信することで、市外からの観光誘客につなげた。</p> <p>④継続した事業実施を可能とするため、イスやテーブルなど必要備品の購入を行った。</p> <p>○2019開催内容及び時期</p> <p>①「史跡 足利学校」周辺イベント(10月6日:門前マルシェ、11月23日・24日:足利学校さままつりの2回開催)</p> <p>・日本遺産「史跡 足利学校」を中心とした石だたみエリアへの観光誘客を図った。</p> <p>・鏝阿寺を含めたエリアの回遊性を高める仕掛けを行った。</p> <p>・複数回開催することで、足利学校、鏝阿寺を含む石畳通りに長期間賑わいを持たせた。</p> <p>②市東部に位置し、世界屈指の陶磁美術館である栗田美術館敷地内で開催(11月22日～24日:陶器・クラフトアートまつり開催)</p> <p>・広大な敷地を生かし、「陶器まつり」「食」「クラフト」など様々な人が楽しめるイベントを開催した。(足利で生産されたそば粉を使ったそばの提供など、足利の歴史と文化を活かせる内容とした)</p> <p>・近隣のあしかがフラワーパークでは、大勢の来場者で賑わうイルミネーションを開催していたことから、このイベントとイルミネーションの相乗効果で、長時間足利市に滞在してもらえるような魅力的な企画とした。</p> <p>【平成32(2020)年度】</p> <p>・実施内容の見直しを行い、地元へ根付く事業にする。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】観光入込客数(平成31年度目標値)</p> <p>【KPI】H26 355万人 → H31 500万人【H30実績 507万人】</p> <p>【KPI達成状況】H27 394万人、H28 411万人、H29 475万人、H30 507万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	31年度	32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
	①複数回魅力を発信するイベントを開催	①複数回魅力を発信するイベントを開催		①複数回魅力を発信するイベントを開催
事業費	6,797,810	6,000,000	12,797,810	6,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	3,000,000	3,000,000	6,000,000	3,000,000
うち県交付金	1,500,000	1,500,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)			0	
うち県交付金			0	
その他自主財源等	3,797,810	3,000,000	6,797,810	3,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光振興課観光・コンベンション担当
担当者名	吉新 知照
電話	0284-20-2165
FAX	0284-21-0643
E-mail	kankou@city.ashikaga.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	足利秋まつり	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市支出金	3,000,000	
足利商工会議所支出金	3,000,000	
出店者手数料	368,943	
負担金	150,000	足利学校さままつり広報負担金
その他収入	278,867	
計	6,797,810	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
使用料及び賃借料	2,355,450	2,355,450	1,177,725	0	テント、発電機等レンタル 会場使用料
消耗品費	491,005	367,350	183,675	123,655	テント、灯油代など
委託料	277,200	277,200	138,600	0	警備員
食糧費	43,260	0		43,260	スタッフ昼食代
賃金	22,000	0		22,000	アルバイト代
手数料	2,500	0		2,500	振込手数料
事業費	3,064,536	0	0	3,064,536	学校さままつり、会場整備 費、広告費など
次年度繰越	541,859	0	0	541,859	
計	6,797,810	3,000,000	1,500,000	3,797,810	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	足利市
事業名	足利冬物語
事業主体の名称	足利冬物語実行委員会
代表者の名称	委員長 相馬 稔
事業主体の所在	〒326-8502 足利市通三丁目2757
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> 団体の目的: まちなかが閑散としがちな冬季に賑わいを創り出そうと新しいイベントを創出する 設立年月日: 平成27年12月4日 構成員等: 足利市、足利商工会議所、足利市観光協会、足利市農業協同組合 ほか
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 足利市には、歴史、文化、自然その他の豊かな地域資源があります。その資源を磨き上げ、まちの魅力としてさらに高め、観光と交流の活性化を図る必要があります。 地域資源を掘出し、その資源を活用した新商品を開発し、新たな誘客と、来訪者の宿泊や飲食などの消費行動を促進し、中心市街地及び市内全域の経済活性化を図る必要があります。 現在、観光プロモーションにおいて、四季のイベントや祭事を取りまとめ、情報発信をしています。その中で冬季はまだ資源が乏しく、中心市街地も閑散とした雰囲気があります。 その中において、毎年2月3日の節分に実施されている「節分鐘年越し」があるが、鐘行列の武将の姿は外国人にも人気が高いが、まだ観光商品として売り込める仕組みが整っていないのが課題である。
事業目的	「足利冬物語」として、100年以上にわたり実施されている伝統行事「節分鐘年越し」と食のイベント「足利風土祭」、行灯でまちなかを彩る光のイベント「足利銘仙灯り」を実施することにより冬季における市内への観光誘客を促進し、回遊性を高めます。
事業概要	<p>【平成31(2019)年度】</p> <p>■足利冬物語の開催</p> <p>①鐘年越しの観光商品化 期日: 2月3日(月) 場所: 織姫公民館～観阿寺 内容: 足利市の冬の伝統的行事である「節分鐘年越し」。外国人観光客や市内外からの誘客につなげるための連携事業の実施</p> <p>②足利風土祭の実施 期間: 2月1日(土)～29日 場所: 市内飲食店、ギャラリー など 足利の食文化の活性化・芸術文化の再認識・農と食の安全安心をアピールすることで街の活性化につなげるイベントの開催 内容: 飲食店が企画したイベントを足利産の食材を使った料理とともに楽しんでもらうコース「FOODコース」、ギャラリーや画廊が足利ゆかりの作家の作品を展示するコース「ARTコース」</p> <p>③足利銘仙灯りの実施 期間: 2月1日(土)～3月1日(日) 場所: 足利織姫神社、史跡足利学校、足利風土祭参加店舗の店先 など 内容: 足利銘仙柄の行灯を設置し、幻想的な雰囲気演出し、ナイトタイムエコノミーによる地域活性化を図った。</p> <p>④ほろ酔いウォーク 期間: 2月1日(土)～2月29日(日) 内容: 飲食店が自慢の料理と飲み物をほろ酔いセット(1,000円)で提供した。</p> <p>参加店: 42店舗</p> <p>⑤あしかが映像まつり 期日: 2月22日(土) 内容: 足利市内で撮影された映画や足利市にゆかりのある映画などの上映。映画監督、出演者の舞台挨拶を行った。 場所: ユナイテッド・シネマアシコタウンあしかが</p> <p>【平成32(2020)年度】</p> <p>継続的な実施により、催事規模を拡大する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】観光入込客数(平成31年度目標値)</p> <p>【KPI】H28 355万人 → H31 500万人【H30実績 507万人】</p> <p>【KPI達成状況】H27 394万人、H28 411万人、H29 475万人、H30 507万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①鐘年越しの観光商品化 ②足利風土祭の実施 ③足利銘仙灯りの実施	①鐘年越しの観光商品化 ②足利風土祭の実施 ③足利銘仙灯りの実施	①鐘年越しの観光商品化 ②足利風土祭の実施 ③足利銘仙灯りの実施 ④ほろ酔いウォークの実施 ⑤あしかが映像まつりの実施		①鐘年越しの観光商品化 ②足利風土祭の実施 ③足利銘仙灯りの実施
事業費	5,396,361	4,284,741	3,457,145	13,138,247	1,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	1,000,000	745,000	2,745,000	1,000,000
うち県交付金	500,000	500,000	372,000	1,372,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	4,396,361	3,284,741	2,712,145	0	1,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光振興課観光・コンベンション担当
担当者名	吉新 知照
電話	0284-20-2165
FAX	0284-21-0843
E-mail	kankou@city.ashikaga.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	足利冬物語	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額	備考
市支出金	745,000	
商工会議所負担金	2,589,141	
雑収入	123,004	ほろ酔いウォーク参加費@3000*41店舗、預金利息
計	3,457,145	

2 支出の部

科目	予算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
印刷製本費	1,638,520	745,000	372,000	893,520	ポスター(B1300枚(JR・東武)、B2店舗等) / チラシ(A4 8P観音開き / 12,000部、A4 2,000枚)
消耗品費	13,128			13,128	会議開催資料、会議開催費用
事業費	1,805,497			1,805,497	行灯借上げ料、鑑年越し助成金等
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	3,457,145	745,000	372,000	2,712,145	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市 町 名	足利市
事 業 名	着物によるまち歩き推進事業
事業主体の名称	一般社団法人足利市観光協会
代表者の名称	代表理事 早川慶治郎
事業主体の所在	〒326-0053 足利市伊勢町3丁目6-4
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 足利市内における観光事業の振興を図り、産業・文化の発展に寄与することを目的とする。 ・設立年月日: 平成26年10月1日 ・構成員等: 観光振興関係団体
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の近代化産業である織物産業の原点ともいえる足利銘仙は、大正から昭和にかけて全国的に普及した足利を代表する歴史資源である。 ・現在では足利銘仙の生産は行われておらず、貴重な伝統文化の衰退が危惧される状況にあることから、現存する足利銘仙の着物や生地を活用することにより、足利の誇る伝統文化を未来に向けて継承していく方策を検討する必要がある。 ・現在は、足利まちなか遊学館での着物着付体験の実施、茨城県結城市、栃木県益子町などのイベントで足利銘仙の着物を貸出し、着付体験や展示をしていただき、足利銘仙のPRをしている。 ・着物姿の観光客がまちなかを歩くことにより、足利の街並みの魅力を向上させるとともに、国内外を問わず観光ニーズの高い着物や甲冑の着付け支援を継続していく必要がある。 ・着付体験の参加者が常連化しているため、若者などの新規客や体験者が増加しつつある外国人を取り込む必要があり、そのために、ニーズに合わせた着物(大きめなサイズなど)や小物を購入し、着物着付体験の環境を整備する必要がある。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・着物着付体験の環境を整備していくことで、さらに体験者を増加させ、足利の街並みの魅力を向上させる。 ・館内に足利銘仙の着物や関連の資料を展示することで、観光客に足利銘仙をPRする。
事業概要	<p>【平成31(2019)年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①着物着付体験の環境整備 場所: 足利まちなか遊学館 内容: 着物着付体験にて使用する銘仙着物、ポリエステル着物、浴衣、下駄などの備品の購入し、環境整備。 ②着物・甲冑着付体験 場所: 足利まちなか遊学館 内容: 足利銘仙や浴衣などの着物・甲冑の着付体験。(年末年始以外受付可能) ※団体の外国人観光客も対応 ③銘仙の展示 場所: 足利まちなか遊学館1階のショーケース 内容: 足利銘仙を展示 <p>【平成32(2020)年度】</p> <p>継続的な実施により、足利の魅力向上や足利銘仙のPRを促進させる。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】観光入込客数(平成31年度目標値)</p> <p>【KPI】H26 355万人 → H31 500万人【H30実績 507万人】</p> <p>【KPI達成状況】H27 394万人、H28 411万人、H29 475万人、H30 507万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	31年度	32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①着物着付体験の環境整備 ②着物・甲冑着付体験 ③着物展示	①着物着付体験の環境整備 ②着物・甲冑着付体験 ③着物展示	/	①着物購入 ②着物展示
事業費	502,443	500,000	1,002,443	500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	500,000	500,000	1,000,000	500,000
うち県交付金	250,000	250,000	500,000	
市町支出金 (ハード事業分)			0	
うち県交付金			0	
その他自主財源等	2,443		2,443	

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光振興課観光・コンベンション担当
担当者名	板橋 実里
電話	0284-20-2165
FAX	0284-21-0643
E-mail	kankou@city.ashikaga.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	着物によるまち歩き推進事業	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額	備考
市支出金	500,000	
足利市観光協会支出金	2,443	
計	502,443	

2 支出の部

科目	予算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
消耗品費	346,393	343,950	171,975	2,443	女性着物、子ども用浴衣、外国人向け浴衣、子供用下駄、足袋、帯枕
修繕費	56,050	56,050	28,025	0	着物修繕
委託費	100,000	100,000	50,000	0	銘仙の展示
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	502,443	500,000	250,000	2,443	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	足利市
事業名	足利灯り物語創出事業
事業主体の名称	足利灯りのある街づくり実行委員会
代表者の名称	委員長 早川 慶治郎
事業主体の所在	〒326-0053 足利市伊勢町3丁目6-4
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 足利市内における観光事業の振興を図り、産業・文化の発展に寄与することを目的とする。 ・設立年月日: 平成29年1月24日 ・構成員等: 観光及び高工振興関係団体
当該事業に係る地域の現状と課題	足利市内には魅力的な観光資源があるものの、首都圏から近く、アクセスしやすいため、日帰りの観光客が多く、宿泊や飲食を伴っていないのが現状である。市内には、「あしかがフラワーパーク」のイルミネーションや足利織姫神社の夜景など夜景観光資源も多く、日常的な風景も工夫をすれば非日常的な観光資源になり得る。現在ある夜景観光資源や潜在的な資源を活用し、市内での滞在型観光をいかに進めるかが課題である。
事業目的	足利市で楽しめる夜景や夜型イベントの全てを財産として、通年で国内外からの観光客や市民に楽しんでいただける夜景商品を開発するとともに、既存の夜景や夜型イベントを非日常的に、集客装置となる観光資源へと磨き上げ、夜間に魅力的なまちづくりを行っている都市空間としてのイメージを築き上げ、来訪者の宿泊や飲食などの消費行動を促進させ、中心市街地及び市内全域の経済活性化に寄与することを目的とする。
事業概要	<p>【平成31(2019)年度】</p> <p>(1)「本物の出会い 栃木」アフターデスティネーションキャンペーン中の特別企画 夜の足利学校特別公開、夜の足利☆ナイトウォーク、足利灯り物語(各施設のライトアップ)</p> <p>(2)足利灯りのある街づくりイベントの創出 足利灯りのある街づくりプロジェクトとして取り組む光のイベントを集約し、光と夜景を回遊しながら楽しめる、足利ならではのイベントを企画し実施</p> <p>①「足利灯り物語」(切り絵アニメーション・灯りによるスタンプラリー・各施設のライトアップ)</p> <p>②史跡足利学校への銘仙灯りの設置 あしかがフラワーパークのイルミネーションの時期に併せ、足利学校に銘仙灯りを設置し、まちなかの回遊を促進</p> <p>③足利冬物語 「足利冬物語」期間に合わせて、足利織物の特長である足利銘仙の斬新な柄を使用した行灯を設置し、市内飲食店等と一体となり回遊を促進</p> <p>④ 足利ほろ酔いウォーク イベントの開催に合わせて、来訪者の宿泊や飲食などの消費行動を促進させ、中心市街地及び市内全域の経済活性化につながるイベント「足利ほろ酔いウォーク」を共同開催して、低料金・定額のメニューの提供により回遊を図る。</p> <p>⑤ その他 関連イベント ・「鏡阿寺お堀ライトアップ」の支援</p> <p>(3)夜景観光の普及・促進 ・「日本百名月」参画: 「名月」を軸にした景観美の発掘及び観光資源化、並びに国内広域観光連携の推進を図る。 ・「夜景サミット」参画: 日本全国における夜景観光活性化のため、行政及び民間企業が一堂に会する場。滞在型観光資源として、「夜景」による地域活性化を目指す。</p> <p>【平成32(2020)年度】 種々の家庭により、滞在型観光の推進を図る</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】観光入込客数(平成31年度目標値) 【KPI】H26 355万人 → H31 500万人【H30実績 507万人】 【KPI達成状況】H27 394万人、H28 411万人、H29 475万人、H30 507万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

	31年度		32年度		(単位:円)		
	事業内容	事業費	事業内容	事業費	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度	
事業内容	(1)「本物の出会い 栃木」アフターデスティネーションキャンペーン中の特別企画 (2)足利灯りのある街づくりイベントの創出 ①夜の足利文化財一斉公開 ②足利冬物語 ③ 足利ほろ酔いウォーク ④ その他 関連イベント ・「鏡阿寺お堀ライトアップ」の支援	3,160,251	(1)足利灯りのある街づくりイベントの創出 ①夜景イベント・施設のライトアップ ②足利冬物語 ③ 足利ほろ酔いウォーク ④ その他 関連イベント ・「鏡阿寺お堀ライトアップ」の支援	5,000,000	8,160,251	(1)足利灯りのある街づくりイベントの創出 ①夜景イベント・施設のライトアップ ②足利冬物語 ③ 足利ほろ酔いウォーク ④ その他 関連イベント ・「鏡阿寺お堀ライトアップ」の支援	3,100,000
事業費		3,160,251		5,000,000	8,160,251		3,100,000
市町支出金(ソフト事業分)		3,000,000		5,000,000	8,000,000		3,000,000
うち県交付金		1,500,000		2,500,000	4,000,000		
市町支出金(ハード事業分)					0		
うち県交付金					0		
その他自主財源等		160,251		0	160,251		100,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光振興課観光・コンベンション担当
担当者名	島田 雄二
電話	0284-20-2165
連絡先 FAX	0284-21-0643
E-mail	kankou@city.ashikaga.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	足利灯り物語	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市支出金	3,000,000	
足利商工会議所負担金	151,042	
諸収入	9,209	アフターDC特別企画「夜の足利☆ナイトウォーク」風船売上、利息
計	3,160,251	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	90,000	90,000	45,000	0	イベント関係者への謝礼
消耗品費	65,030	65,030	32,515	0	ロウソク・シーツ等
印刷製本費	299,772	299,772	149,886	0	イベントチラシ代(「足利灯り物語」「ほろ酔いウォーク」等)
光熱水費	9,855	9,855	4,928	0	お堀桜ライトアップ仮設電気料金
通信運搬費	39,716	39,716	19,858	0	機材返却送料、通知郵送代、チラシ送料
委託料	2,010,110	1,849,859	924,929	160,251	イベント警備、足利の影絵制作費用、ライトアップ設置等
使用料	88,398	88,398	44,199	0	レンタルプロジェクター、レンタルゴムマット代
工事請負費	406,090	406,090	203,045	0	足利織姫神社配線工事、ナイトウォーク配線工事等
負担金	151,280	151,280	75,640	0	夜景サミット負担金、日本百名月参画負担金
				0	
計	3,160,251	3,000,000	1,500,000	160,251	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	足利市
事業名	あしかが「美」食まつり
事業主体の名称	あしかが「美」食まつり実行委員会
代表者の名称	実行委員長 早川 慶治郎
事業主体の所在	〒326-0053 足利市伊勢町3丁目6-4
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 足利市の農産物ブランドである「あしかが美人」を使った新たな食のブランド化を図り、市民及び観光客が「あしかが美人」の魅力を知る機会を創出することで、地産地消の推進と観光誘客の促進を図り、地域活性化につなげる。</p> <p>・設立年月日: 平成29(2017)年9月1日</p> <p>・構成員等: 足利市、足利市農業協同組合、足利商工会議所、足利市坂西商工会、足利市観光協会</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>・足利市は、「史跡 足利学校」や「国宝 観阿弥」をはじめ、歴史的な観光資源が中心市街地に集中しており、そうした中心市街地に多くの観光客が訪れる一方で、足利市全体の地域活性化及びにぎわい創出のために観光客を中心市街地から市内全域へ周遊させる仕掛けが機能していない現状である。</p> <p>・「観光振興」とご当地での「食」が密接に関わる中、観光資源としての「あしかが美人」のPR強化が課題であり、「あしかが美人」と地域との結びつき及び観光客への周知を推進する体制及び仕組みづくりをする必要がある。</p> <p>・足利市を訪れる観光客の多くは日帰り客中心であり、観光消費額より大きい宿泊客誘致及び消費機会の創出に向けた取組が課題である。</p>
事業目的	<p>農産物ブランド「あしかが美人」(トマト、いちご、アスパラガス、にんじん、きゅうり、ナス、大根)を食材として使用したメニューや加工品等を市内店舗や宿泊施設等で提供し、本市ならではの食のブランドとしてメニューの定着を図るとともに、引き続き地産地消の推進と観光誘客の促進を図り、地域活性化につなげる。</p>
事業概要	<p>【平成31(2019)年度】</p> <p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ野菜(食材)を決定。 ・飲食店及び宿泊施設を対象に参加店の募集(26店舗・27品目の出品) →各参加店にて特別メニューを考案 ・チラシ、ポスター、のぼり旗、ホームページにて広報 →「あしかが美人」生産者や参加店へのインタビュー記事など、ストーリー性を持つ広告宣伝を実施 ・あしかが「美」食まつり開催 →期間限定で特別メニューの提供開始。期間中も各種媒体にて広報を実施。 ⇒中心市街地のみならず、市民及び観光客による市内全域でのにぎわいを創出 <p>【令和2(2020)年度】</p> <p>継続的な実施により、催事規模を拡大する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】観光入込客数(平成31年度目標値)</p> <p>【KPI】H26 355万人 → H31 500万人【H30実績 507万人】</p> <p>【KPI達成状況】H27 394万人、H28 411万人、H29 475万人、H30 507万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	31年度	32年度		支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①あしかが「美」食まつりの参加店募集 ②あしかが「美」食まつりの広告宣伝 ③あしかが「美」食まつりの実施	①あしかが「美」食まつりの参加店募集 ②あしかが「美」食まつりの広告宣伝 ③あしかが「美」食まつりの実施			①あしかが「美」食まつりの参加店募集 ②あしかが「美」食まつりの広告宣伝 ③あしかが「美」食まつりの実施
事業費	1,880,826	2,100,000		3,980,826	2,100,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	1,000,000		2,000,000	1,000,000
うち県交付金	500,000	500,000		1,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	880,826	1,100,000	0	1,980,826	1,100,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光振興課観光・コンベンション担当
担当者名	島田 雄二
電話	0284-20-2165
FAX	0284-21-0643
E-mail	kankou@city.ashikaga.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	あしかが「美」食まつり	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市支出金	1,000,000	
足利商工会議所負担金	400,000	
足利市農業協同組合	400,000	
協賛金	80,000	
繰越金	824	
雑費	2	利息
計	1,880,826	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町支出額	県交付金		
印刷製本費	1,275,450	1,000,000	500,000	275,450	パンフレット 50,000部、ポスター 100部、のぼり旗 35枚
委託料	200,000			200,000	ホームページ運営委託費
通信運搬費	51,562			51,562	参加店募集通知、パンフレット発送
事務費	5,877			5,877	会議費、消耗品費
次年度繰越金	347,937			347,937	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	1,880,826	1,000,000	500,000	880,826	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	足利市
事業名	観光サポーターズ事業
事業主体の名称	一般社団法人足利市観光協会
代表者の名称	代表理事 早川慶治郎
事業主体の所在	〒326-0053 足利市伊勢町3丁目6-4
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 足利市内における観光事業の振興を図り、産業・文化の発展に寄与することを目的とする。 ・設立年月日: 平成26年10月1日 ・構成員等: 観光振興関係団体
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>足利市内における観光を推進していく中では市民の協力は不可欠であります。 足利市の魅力を最大限に情報発信するには、「足利を愛し、足利の知識がある」方に担っていただく必要があります。 観光のまちづくりを推進するためには、「おもてなし」意識を皆が持ち、市民の皆様が観光地としての意識改革をしなければなりません。 観光誘客におけるキャンペーンなどでは、職員が実施している現状であり、人件費の負担が大きくなっています。 観光ボランティアガイドの皆さんは知識も豊富で活躍をされています。しかし、新たに加入しづらい状況がみられます。</p>
事業目的	<p>足利市内における観光を推進するために市民協力がしやすい環境を整えます。 観光のまちづくりを推進するために、「おもてなし」研修会を開催し、市民の皆様が観光地としての意識改革を図ります。 足利が大好きな方が、市外の皆様にも足利の良さを伝えることにより、より高い郷土愛を得られることが期待できることから、観光に携わるアシスタントを公募し、登録していただき、様々な観光誘客の機会が活躍していただきます。 観光ボランティアガイドを大々的な中で活動していただき、相互協力体制を作って、互いに関心を示していただき、加入しやすい環境を作ります。</p>
事業概要	<p>【平成31(2019)年度】 ①観光案内人の育成と常駐体制の整備 常駐案内人期間: 4月13日～5月19日、10月19日～11月24日の土日祝日など 計33日間 1,801件 6,275人案内 318人従事 先進地視察研修: 9月17日 ボランティアガイド研修会: 7月12日～8月21日まで4日間開催 内容: 史跡足利小学校に常駐して観光案内を実施することにより足利の魅力を高めるとともに郷土愛の醸成を図った。また、案内のスキルアップとして自主研修会を実施した。 ②観光案内人・観光アシスタントとの相互協力体制の構築 観光キャンペーンや旅行会社からの依頼等に対応した。 観光アシスタント制度: 観光に係る活動をしたい市民の方に登録していただき、観光事業の際に自分の得意分野を活かして活躍していただく制度。 ③市民ボランティアガイドの育成 実施日: 2月29日(中止) 市民による観光客へのおもてなしの推進を図るための研修会を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、中止 【KPI向上に繋がる取組】 ・ボランティアガイドのスキルアップや観光アシスタントの活用により、観光客への質の高いおもてなしを図り、リピーターの獲得に繋げる。 【令和2(2020)年度】 継続的な実施により、参加者の増加と事業の拡大を図る。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】観光入込客数(平成31年度目標値) 【KPI】H26 355万人 → H31 500万人【H30実績 507万人】 【KPI達成状況】H27 394万人、H28 411万人、H29 475万人、H30 507万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	29年度			30年度			31年度			支援期間の事業費計	
	29年度	30年度	31年度	29年度	30年度	31年度	29年度	30年度	31年度	支援期間の翌年度	
事業内容	①観光案内人の育成と常駐体制の整備 ②観光アシスタントの公募、観光案内人・観光アシスタントとの相互協力体制の構築 ③外国語ボランティアガイドの育成	①観光案内人の育成と常駐体制の整備 ②観光アシスタントの公募、観光案内人・観光アシスタントとの相互協力体制の構築 ③外国語ボランティアガイドの育成	①観光案内人の育成と常駐体制の整備 ②観光アシスタントの公募、観光案内人・観光アシスタントとの相互協力体制の構築	①観光案内人の育成と常駐体制の整備 ②観光アシスタントの公募、観光案内人・観光アシスタントとの相互協力体制の構築	①観光案内人の育成と常駐体制の整備 ②観光アシスタントの公募、観光案内人・観光アシスタントとの相互協力体制の構築	①観光案内人の育成と常駐体制の整備 ②観光アシスタントの公募、観光案内人・観光アシスタントとの相互協力体制の構築	①観光案内人の育成と常駐体制の整備 ②観光アシスタントの公募、観光案内人・観光アシスタントとの相互協力体制の構築	①観光案内人の育成と常駐体制の整備 ②観光アシスタントの公募、観光案内人・観光アシスタントとの相互協力体制の構築	①観光案内人の育成と常駐体制の整備 ②観光アシスタントの公募、観光案内人・観光アシスタントとの相互協力体制の構築	①観光案内人の育成と常駐体制の整備 ②観光アシスタントの公募、観光案内人・観光アシスタントとの相互協力体制の構築	
事業費	1,196,734	904,746	469,285	1,196,734	904,746	469,285	2,570,765	2,570,765	469,285	620,000	
市町支出金(ソフト事業分)	1,196,734	904,746	469,285	1,196,734	904,746	469,285	2,570,765	2,570,765	469,285	620,000	
うち県交付金	598,367	452,373	234,642	598,367	452,373	234,642	1,285,382	1,285,382	234,642	620,000	
市町支出金(ハード事業分)							0	0			
うち県交付金							0	0			
その他自主財源等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光振興課観光・コンベンション担当
担当者名	堀井 雄一郎
電話	0284-20-2165
FAX	0284-21-0643
E-mail	kankou@city.ashikaga.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	観光サポーターズ事業	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市支出金	-447,061	
	469,285	
計	-447,061	

2 支出の部

科目	精算額	財源		備考	
		市町支出額			自主財源等
		県交付金			
報償費	350,100	350,100	175,050	0	常駐案内費用弁償
消耗品費	29,609	29,609	14,804	0	ハンディメガホン代等
印刷製本費	17,066	17,066	8,533	0	案内通知印刷等
通信運搬費	6,738	6,738	3,369	0	案内通知等
使用料及び賃借料	65,772	65,772	32,886	0	視察研修バス代
				0	
				0	
				0	
				0	
計	469,285	469,285	234,642	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	足利市
事業名	歩くまち空間創出事業
事業主体の名称	門前マルシェ実行委員会
代表者の名称	委員長 大川 正芳
事業主体の所在	〒326-8601 足利市本城3丁目2145
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:「門前マルシェ」を開催し、地域の発展及び活性化に寄与すること ・設立年月日:平成30年4月2日 ・構成員等:足利市観光協会、足利市、出展者等
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・足利市は、「足利学校」・「観阿寺」など、貴重な歴史遺産が中心市街地にまとまって存在するという、近隣市には無い特色と地理的優位性がある。その特長を最大限に生かして、まちのにぎわいを再生し中心市街地の活性化や交流人口の増加による経済活性化につなげる取り組みを行っていくことが課題である。 ・少子高齢化・人口減少が急速に進む中、高齢になっても地域で元気に暮らせる社会を実現するためにも「健幸=健康で幸せ(身体面の健康だけでなく、人々が生きがいを感じ、安心安全で豊かな生活を送れること)」づくりである「スマートウェルネスシティ構想」を推進している。 ・「スマートウェルネスシティ構想」の実現の一つとして、人が集う魅力ある場所を創出し、回遊性を高め、まちのにぎわい創出につなげる取り組みを行っていくことが課題である。
事業目的	<p>「スマートウェルネスシティ構想」の実現の一つとして、魅力ある場所を創出し人を集め、回遊させることにより、にぎわいを創出につなげる取り組みを実施する。自動車の流入を制限する区域を設定し、安全・安心に歩かせることにより、日常の身体活動量の増加による健康度の向上、医療費の抑制、さらにはまちの元気につながる。</p> <p>そのために、まち歩き拠点施設である「足利まちなか遊学館」との連携により、週末に学校様通りを歩行者天国区間として開放し、催事を開催することにより、市民や観光客の交流によるまちのにぎわいの創出を目指す。</p>
事業概要	<p>【平成31(2019)年度】</p> <p>【事業概要】</p> <p>①車両の進入を規制してのイベントの開催 開催日:平成31年4月14日(日)開催 開催場所:足利学校様通り、松村記念館など</p> <p>②多数の来場者に対応し、イベントをさらに充実させるためのテーブル、イスの購入</p> <p>③回数を重ねても飽きさせないイベントとする仕掛けを行った。</p> <p>④イベントを広く周知するため、ホームページやSNS等を使った広報を行った。</p> <p>【KPIにつながる取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやSNSなど、紙媒体以外での周知を行い県内外からの交流人口を増やす。 ・歩行者天国を使ったイベントの実施により交流を図り、市内外からの観光誘客につなげる。 ・歩行者天国区域から市内回遊を促進させ、まちのにぎわいを創出し、中心市街地の活性化を図る。 <p>【平成32(2020)年度】</p> <p>さらにイベント内容の充実を図るとともに、より多くの集客を図れるイベントに成長させる。 確実なリピーターの確保と新規来場者の開拓を行うため、常に新しいものを取り入れたイベントにする。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】観光入込客数(平成31年度目標値)</p> <p>【KPI】H26 355万人 → H31 500万人【H30実績 507万人】</p> <p>【KPI達成状況】H27 394万人、H28 411万人、H29 475万人、H30 507万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①車両の進入を規制してのイベントの開催 ②イベント実施のためのテントの購入	①車両の進入を規制してのイベントの開催	①車両の進入を規制してのイベントの開催 ②イベント実施のためのテントの購入		①車両の進入を規制してのイベントの開催
事業費	821,037	843,001	1,071,073	2,735,111	400,000
市町支出金 (ソフト事業分)	800,000	800,000	800,000	2,400,000	400,000
うち県交付金	400,000	400,000	400,000	1,200,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	21,037	43,001	271,073	335,111	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光振興課観光・コンベンション担当
担当者名	吉新 知照
電話	0284-20-2165
連絡先 FAX	0284-21-0643
E-mail	kankou@city.ashikaga.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	歩くまち空間創出事業	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額	備考
市支出金	800,000	
出展者負担金	137,000	@6,000×10店(飲食)@4,000×14店(物販)@3,000×7店(野菜)
バッグ売上代	101,800	
Tシャツ販売手数料	9,500	
前年度繰越金	22,773	
計	1,071,073	

2 支出の部

科目	予算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市	町		
報償費	100,000	0	0	100,000	イベントリーダーへの報償費
備品購入費	524,880	524,880	262,440	0	イス、テーブル
賃借料	67,000	67,000	33,500	0	テント用ウェット 会場賃借料
消耗品費	258,769	102,940	51,470	155,829	バッグ購入費 消耗品
役務費	94,410	94,410	47,205	0	ホームページ、SNS管理 イベント保険
通信運搬費	10,770	10,770	5,385	0	チラシ・ポスター送付
次回持ち越し	15,244	0		15,244	
計	1,071,073	800,000	400,000	271,073	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	足利市
事業名	まちなか賑わい創出事業
事業主体の名称	ARTあしかが実行委員会
代表者の名称	栗田 俊英
事業主体の所在	足利市本城3丁目2145
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: アートを通して本市の魅力を感じてもらおうとともに、関係者と連携を図ることで、観光誘客及び商業振興を目的に開催するアートイベント「ARTあしかが」の円滑な運営 ・設立年月日: 2017年11月8日 ・構成員等: 市内の美術館又はギャラリーの責任者、市内で作品展示を行うアーティスト又は団体の責任者、学識経験者など
当該事業に係る地域の現状と課題	本市では、第7次足利市総合計画の戦略プロジェクトに、「まちの魅力発信プロジェクト」を掲げ、歴史・文化・自然・風土などの豊かな地域資源を磨き上げ、まちの魅力を更に高め、地域のおもてなしと地域の特性を活かしながにぎわいと魅力あるまちづくりに取り組んでいる。また本市では、本市に魅力を感じる市民団体などが市内の古民家等を活用した作品展示を行っている。今後一層の交流人口の増加によるにぎわい創出のためには、各種団体の連携と一体的な広告宣伝が課題である。
事業目的	2019年春の栃木アフターデスティネーションキャンペーンに併せて、市内の美術館、ギャラリー、古民家等を会場としたアートイベント「ARTあしかが」を開催することで、首都圏などからの更なる交流人口の増加による地域活性化を図る。また市民がアートを通して、普段気づかない本市の魅力を再認識することで、シビックプライドの醸成を図る。
事業概要	<p>【平成31(2019)年度】</p> <p>■ARTあしかがの事業概要 市立美術館及び市内ギャラリーが連携するアートリンクinあしかがや、市内で作品展示を行う各種団体が、栃木デスティネーションキャンペーン期間中に連携し、アートイベント「あしかがアークロス」を開催した。実行委員会では期間中、各種展示を一体的に楽しんでいただけるような企画展等を開催、イベント全体の広告宣伝、関係団体との連携を図るための実行委員会を開催し、各種展示については各種団体がそれぞれ自主的に行った。</p> <p>■実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あしかがアークロス2019の開催 期間: 2019年4月13日～2019年6月16日 会場: 市内の美術館、ギャラリー、古民家等 来場者数: 約11,000人(4/13～6/16) ・あしかがアークロス2020の開催に向けた準備 期間: 2019年6月～2020年3月31日 印刷物などの作成ほか ・作品を展示する各種団体との連絡調整 <p>【令和2(2020)年度】 継続的に実施することにより、更なる交流人口の増加による地域活性化を図る。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】観光入込客数(平成31年度目標値)</p> <p>【KPI】H26 355万人 → H31 500万人【H30実績 507万人】</p> <p>【KPI達成状況】H27 394万人、H28 411万人、H29 475万人、H30 507万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<p>【ARTあしかが2018】</p> <p>①企画展等の計画 ②イベントの広告宣伝 ③関係者協議</p>	<p>【ARTあしかが2018】</p> <p>①企画展等の開催</p> <p>【ARTあしかが2019】</p> <p>①企画展等の計画 ②イベントの広告宣伝 ③関係者協議</p>	<p>【ARTあしかが2019】</p> <p>①企画展等の開催</p> <p>【ARTあしかが2020】</p> <p>①企画展等の計画 ②イベントの広告宣伝 ③関係者協議</p>		<p>【ARTあしかが2020】</p> <p>①企画展等の開催</p> <p>【ARTあしかが2021】</p> <p>①企画展等の計画 ②イベントの広告宣伝 ③関係者協議</p>
事業費	350,000	795,553	897,803	2,043,356	700,000
市町支出金 (ソフト事業分)	350,000	600,000	600,000	1,550,000	600,000
うち県交付金	175,000	300,000	300,000	775,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	195,553	297,803	493,356	100,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画政策課・移住定住・シティー・プロモーション担当
担当者名	柏瀬 誠
電話	0284-20-2275
FAX	0284-21-1384
E-mail	kikaku@city.ashikaga.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	まちなか賑わい創出事業	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市交付金	600,000	
寄附金	180,000	
入場料	60,000	
冊子販売	55,200	
雑収入	2,603	
計	897,803	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町交付金	県交付金		
報償費	208,904	208,904	104,452	0	協力者への謝金等
会場使用料	40,000	40,000	20,000	0	会場3か所
使用料	54,000			54,000	映画版權
委託費	80,000	80,000	40,000	0	会場装飾(連旗)
消耗品費	21,396	21,396	10,698	0	事務用品等
食糧費	63,832	0	0	63,832	ボランティア昼食代
印刷製本費	254,990	249,700	124,850	5,290	ポスター(A2 200部 店舗等) フライヤー(A4 15,000部 事前 送付用)ほか
次年度繰越金	174,681	0	0	174,681	
				0	
				0	
				0	
計	897,803	600,000	300,000	297,803	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合